

第 32 回（平成 28 年第 1 回）暁木会・KTC・神戸大学意見交換会 議事録

- ・ 日 時 平成 28 年 6 月 9 日（木）18：30～20：40
- ・ 場 所 神戸大学工学部（生協食堂・AMEC3）
- ・ 出席者（敬称略，順不同）
暁木会 10 名 大門芳一、寺谷毅、濱村吉昭、芦田渉、福田雅人、松尾幸治、
北田敬広、石原純、小川修隆、奥村孝幸
KTC 3 名 鴻池一季、岩田修三、宇田隆彦
神戸大学 11 名 喜多秀行、藤田一郎、小池淳司、内山雄介、中山恵介、井料隆雅、
橋本国太郎、加藤正司、三木朋広、瀬谷創 四辻裕文

・ 資料

資料 1：第 32 回（平成 28 年第 1 回）暁木会・KTC・神戸大学意見交換会資料

・ 議事

1. 暁木会会長の挨拶

大門会長から挨拶があった。

2. KTC 理事長の挨拶

鴻池理事長から挨拶があった。

3. 市民工学専攻長の挨拶

喜多専攻長から挨拶があった。

4. 暁木会学術振興基金助成金の贈呈

大門会長から喜多専攻長へ学術振興基金助成金が贈呈された。



写真・1 大門会長から喜多専攻長への学術振興基金助成金贈呈

5. 乾杯

大門会長から乾杯のご発声があった。



写真-2 懇親会の様子

6. 自己紹介

参加者（市民工学教室、KTC、暁木会の順で）の自己紹介があった。

7. 暁木会からの報告

○総会について

- ・総会の日程は平成 29 年 3 月 24 日 (学位授与式当日) とすることが報告された
- ・総会開始時刻を厳守するため、一昨年同様、大学の卒業・修了証授与式の開始を早めること。また、学生への集合の厳守の指導について依頼があった。
- ・優秀学生表彰については、対面式の真ん中で行うことの提案があった。

○H28 年度暁木会行事予定について、報告があった。

○会費会員の増強方策として、①加入率の低い卒業回への加入の働きかけ、②学年幹事等からの同学年への展開、③支部への協力要請を考えており、随時進める予定であることが報告された。

○暁木会ニュース

- ・暁木会ニュースの執筆依頼があった。第 11 回神戸大学ホームシングデーの開催案内を小池教授へ依頼。○研究報告は橋本教学委員へ依頼。○現役学生生活紹介（就職活動報告）は橋本教学委員から 3 名の学生を推薦する。
- ・執筆の締切りは 7 月末とする。

8. 神戸大学からの報告（喜多専攻長）

- ・役員会議（5/30）の内容について、教室会議で報告し、了解を得た。
- ・平成 28 年度より新しい教育カリキュラムが始まっている。クォーター制の導入、高度教養科目として 3 年次以降雄も教養科目を履修、留学や海外インターンシップ支援の充実 etc
- ・保護者会を 6/11（土）に開催し、11～12 名の保護者が参加する予定
- ・大学組織が変わる。これまでの研究・教育が一体としての大学教員から、所属、仕事が別とした体制へ。

【意見】

- ・所属、仕事が別となる体制についてメリット・デメリットは？
メリット) 共同研究がしやすくなる等、研究の自由度が増える、
デメリット) アウトプットだけで評価。評価が難しい。
- ・研究者への評価はどのように変わるのか。
①教育者としての評価、②研究内容、③社会貢献、④管理運営の観点で評価

9. KTC からの報告

- ・教育研究活動に対する援助金支給対象者の選考内規について、説明があった。

【意見】

- ・予算が潤沢 or そうでない講座があり、予算の少ない講座、若い研究者への配慮もお願いしたい。
- ・対象者が“着任して 5 年”とあるが、できれば”原則・優先“などを加え、自由度を高めてほしい。

10. その他

大学の近況ならびに学生の就職状況など、活発な意見交換があった。

11. 閉会の挨拶

藤田教授から閉会の挨拶があった。



写真-3 藤田教授の閉会挨拶

【会計報告】

- ・収入 60000 円 (会費 2500 円, 参加者 24 名)
- ・支出 60000 円
- 収支 0 円

以 上